KKR 高松病院

地域包括ケア病棟レスパイト入院

～在宅医療を支えるための入院～



ときどき入院

ほぼ在宅

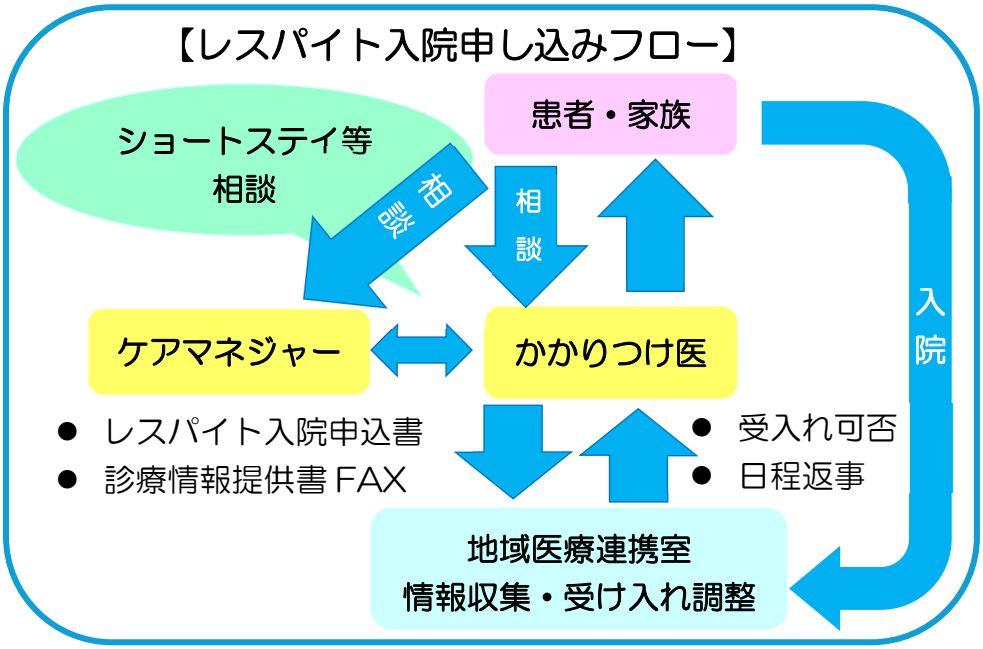


地域包括ケア病棟とは、急性期医療が終了した後、すぐに在宅や施設へ退院するのには不安のある患者さんに対して、医学的管理、看護、リハビリ等を行い、自宅や居住系介護施設等への復帰に向けて準備を行う病棟です。

また、在宅療養されている患者さんのご家族を支援するため、在宅医療を支えるため【レスパイト入院】の受け入れを行います。

目 的	ご自宅で介護を受けているご本人に入院していただき、ご家族が介護休息(介護を行うご家族の生活や気持ちを健全に保つ休息)することにより、介護を継続して行える環境を提供します
対 象	● 病状が安定している在宅療養中の患者さん ● レスパイト入院終了後、ご自宅に帰る患者さん ● 入院先が病院のため、褥瘡処置・喀痰吸引・麻薬管理・胃ろう・気管切開・点滴・在宅酸素などの医療処置を行っている患者さんも利用可能
運 用	● 原則、治療・各種検査・リハビリテーションは行いません ※病状が悪化し治療が必要となった場合には、通常の治療入院となることがあります ● 入院の際は、お薬・医療材料(胃ろう付属品やストーマ等)・マイナンバーカードをご持参ください

【レスパイト入院申し込みフロー】



入院できる期間

原則、1 回の入院期間は 14 日以内(入院日と退院日含む)で、月に 1 回の利用となります。

他の医療機関へのレスパイト入院も含めて通算利用日数が 60 日を超える場合は、3 ヶ月以上空ける必要があります。

※患者さんの状態によって入院継続困難な場合は、予定期間より短期間となる場合があります。

問い合わせ先：KKR 高松病院　地域医療連携室　TEL:087-861-3261